

ろばの子に乗る王

ゼカリヤ書9章

見よ、あなたの王はあなたの所に来る。彼は義なる者であつて勝利を得、
柔和であつて、ろばに乗る。すなわち、ろばの子である子馬に乗る。(9)

9章以降は、神殿完成後に与えられた主の言葉であると理解されています。このとき民の悩みは周辺諸国の存在でした。隙があればイスラエルに侵入しようと思つていたので、主はゼカリヤを通して、主ご自身が周辺の敵を打ち破り、かわりに平和の王を送つてくださると約束されました。当時、王の乗り物は戦いにおける強さを象徴する軍馬と決まつていました。ところがこの王は、弱さや優しさを意味するろばの子に乗つて登場するということです。武力をもつて敵を打ち倒す王ではなく、その柔和さをもつて平和をもたらず王です。この預言は主イエスが十字架を前にしてエルサレムに入城したときに成就しました(マタイ二一5)。この柔和な王は神に背く者たちを滅ぼすのではなく、自ら全ての人の罪のため十字架で滅ぼされることによつて地上に平和をもたりました。キリスト教信仰の鍵は、柔和な王としてこの世に来られ、十字架によつて平和をもたせられた主イエスを「わたしの王」として心の中にお迎えすることです。

「シオンの娘よ、大いに喜べ」(9)と呼びかけられているように、クリスマスにおいて平和の君を迎えようとしているわたしたちは、喜びと感謝をもつて主イエスをお迎えしようではありませんか。この救い主は、わたしたちに真の平和をもたらすために来てくださったのです。